

令和6年 第9回教育委員会会議（報告）

令和6年9月20日

1 前回の会議録確定 全員異議なく確定

2 教育委員会活動報告 資料報告

3 議 事

日 程	件 名	議決年月日	議決要旨
議案第1号	美深町立学校職員服務規程の一部改正について	R6.9.20	原案可決

4 所管行政に関する協議

日 程	件 名	協議等年月日	要 旨
報告事項1	令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について	R6.9.20	資料報告
そ の 他	10月の行事予定について	R6.9.20	予定説明

令和6年 第9回教育委員会会議録

美深町教育委員会会議を次のとおり開催したので、その記録を委員会会議規則第8条に基づき報告いたします。

1 開催日時 令和6年9月20日（金）午後4時00分～午後5時20分

2 開催場所 美深町文化会館 COM100 小会議室

3 出席者（13名）

〈委員〉	教育長	杉本 力	代 理	安喰 俊博
	委員	清水満寿美	委 員	坂井 弘明
	委員	大島 一夫		
〈職員〉	次 長	大堀 裕康	幼児センター長	井川 健
	主幹(学校)	元岡 友之	主幹(社会・体育)	前田 貴也
	給食センター長	奥山 貴弘	幼セ副センター長	富田 由佳
	参事(学校)	野村 薫	副主幹(学校)	久保 元樹

4 議 事

議案第1号 美深町立学校職員服務規程の一部改正について 原案可決

5 所管行政に関する協議・報告

報告事項1 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について 資料報告
そ の 他 10月の行事予定について 予定説明

6 会議記録

◎ 開 会（午後4時00分）

教 育 長 本日もお仕事でお疲れのところ、ご出席いただきありがとうございます。9月12日から19日まで定例議会がございました。一般質問では、町民体育館の改修について質問を受け、令和7年度から約2年間で工事を行うということ、そして事前に関係団体と調整をし、小中学校の体育館を利用しながら体育振興に努めていく、という内容で答弁しております。17日、18日には、令和5年度の決算特別委員会が開催されました。その中で、英語教育について議員から、中学校卒業時英検3級合格率について厳しい意見等をいただきました。その他につきましては、補正予算として前回の教育委員会会議でお諮りした幼児センターの person 費や、給食センター修繕費等の追加予算を可決したところです。また議員提案として、北海道知事と北海道教育委員会教育長宛に、公立高校の統廃合に対する懸念と、30人定員についての意見書が採択され、提出することになりました。他、人事案件として清水教育委員が9月30日をもって任期満了になるということで、新教育委員の斉藤美香さんの同意を得ました。この同意辞令については、後ほどご説明させていただきます。清水委員におかれましては、平成21年12月から14年9か月の間、教育

行政の進行に対して大変ご尽力いただきました。あらためて感謝を申し上げます。
以上を申し上げます、はじめのご挨拶とさせていただきます。それでは
会議を始めます。

(1) 前回の会議録の確定

教 育 長 前回の会議録確定を議題とします。前回の会議録について事務局の説明をお願いします。

教 育 次 長 (令和6年第8回教育委員会会議の会議録について別紙により説明)

教 育 長 説明が終わりましたので、会議録についてご確認をお願いします。

教 育 長 ご確認いただけたでしょうか。ご質疑等はございませんか。
(「なし」の声あり)

教 育 長 会議録を確定とさせていただきますがよろしいですか。
(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認め、会議録を確定とします。

(2) 教育委員会活動報告

教 育 長 続いて、教育委員会活動報告です。各担当から活動報告をお願いします。
各 担 当 (活動報告について、別紙により報告)

教 育 長 教育委員会活動報告について、説明が終わりました。委員の皆様からご質疑等がございますか。
(「なし」の声あり)

教 育 長 教育委員会活動報告について、報告済みといたします。

(3) 議 事

教 育 長 本日の議事に入ります。議案第1号「美深町立学校職員服務規程の一部改正について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

主 幹 (学 校) (議案第1号について、別紙により説明)

教 育 長 説明が終わりました。引用条例の条ずれについて改正をしていくという内容です。ご質疑等ございましたらお願いします。
(「なし」の声あり)

教 育 長 それでは、議案第1号「美深町立学校職員服務規程の一部改正について」をお諮りします。原案のとおりで異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認め、議案第1号は原案通り可決します。

(4) 所管行政に関する協議・報告

教 育 長 報告事項1「令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」事務局の説明をお願いします。

参 事 (学 校) (報告事項1について別紙により説明)

教 育 長

報告事項1「令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」の説明が終わりました。1枚目のA3の資料ですが、一番上のレーダーチャート図は前回ご覧いただいたものと変わりありません。真ん中より下の質問調査と分析の部分についてですが、小学校の国語は今回比較的结果が良かったので、その要因を先生の授業での取り組みとそれに対する子ども達の意見を取り上げてまとめています。算数については、少し落ち込んでいる領域がありますので、それについて個に応じた指導により努めるようにしてしています。中学校については、数学の結果が比較的良かったので、授業での取り組みと生徒の意見とで分析をまとめています。国語については、落ち込んでいる部分、特に「話すこと・聞くこと」について、リーディングスキルテスト等を活用して引き続き読解力を高めていくとまとめています。それと6ページの差し替えで本日お配りしたものです。現在の中学3年生が、3年前の令和3年当時小学6年生の時に受けた学力調査の結果とを比較したものです。中学校と小学校では中学校の方が項目が多かったり、名前が違ったりしていますが、似たような項目や同じ項目について重ね合わせたのが一番右の図になります。青い線は中学3年生で今年の結果、オレンジ色の線が小学6年生の時の同じ子どもたちの状況ということで、この二つを同じレーダーチャート図にしたものです。グレーの線はそれぞれの年の平均ということになります。こちらを見ると、数学のデータ活用と国語の読むことが外側に出ていて、3年前よりも良くなっている黄色い部分が増えてきていると捉えていただきたいということです。一方緑の部分については3年前の結果より下回っている部分になります。相対的に見ると黄色の部分が多くなっているの、学習の成果が表れてきているといった分析結果になります。そして全体を通して、家庭学習の時間が全国に比べてかなり低いので、それらを改善してこの落ち込んでる領域も何とか上げていきたいという状況でございます。

ある新聞報道によると、新聞を読む時間が多い子どもは国語の読解力が高いという分析結果が出ているようですが、それに反比例した結果が美深の場合出ていて、読む時間は比較的多いのですが、言葉の特徴や使い方に関する事項で若干落ち込んでいて、一概にはそう言えないのかなと見ていて思ったところです。

清 水 委 員

今新聞を取っていない家庭が多いのではないのでしょうか。学校では新聞を活用した授業などを行っているのでしょうか。よく新聞を活用しましょうと言っていますが、そういった授業を行っているのでしょうか。

教 育 長
清 水 委 員 長
教 育 長

学校に新聞は置いてあります。
それでは学校では新聞を読めるということですね。
質問調査の結果を見ると、各年度で大きく違います。週1～3回程度以上新聞を読んでいる子どもが、令和3年度は39%で4割近いですが、令和6年度は12.1%で、全国平均から見ると多いですが、年度で相当違います。

大 島 委 員

これは学校で何か工夫とか努力をされているのでしょうか。小学校で相当極端に落ちてきていますが、授業の中での新聞の使い方とかで違いが出てきているのでしょうか。

清 水 委 員

新聞を読む感覚は、例えば番組欄を見て読んだと思う子どもももしかしたらいるかもしれないですし、ちゃんと記事を読んで読んでいますという子もいるかもしれません。そこはわからないと思います。

大 島 委 員

新聞とは関係ないかも知れませんが、スマホの普及と合わせて読書量も減ってきているので、読書量についての調査で、読む本の冊数を聞く調査が以前ありませんでしたか。

参 事 (学 校)

今回読書量を聞いたアンケート項目がなくなっていました。代わりに家庭にある本の冊数を聞いていて、その意図は冊数が多い家庭は経済的に豊かで、それと子どもの学力との相関があるかどうかを調査するというものです。

- 大 島 委 員 子供が読む本の冊数とか何時間本を読むかといった調査の結果がニュースで流れていました。一冊も読まない人が6割以上いると、この間テレビでやっていましたが、そういう調査は今年なくなったのですか。
- 参 事 (学 校) どの程度読むかの調査は、今年ありませんでした。
- 坂 井 委 員 基本的な質問ですが、学力テストの中の例えば、問1は書くことの間いというように分かれていて、各領域のそれぞれの得点でこういったレーダーチャート図になるのですね。また、中学校が2校あり「よく行った」が50%、「どちらかといえば行った」が50%というのは、1校ずつ答えているからということですね。
- 参 事 (学 校) そうです。
- 大 島 委 員 なかなかその辺が統計上、上手く中身を反映できない部分ですね。全道や全国にはいろいろな先生がいらっしゃるから、取り組んでいないと正直に答えている割合もありますが、一人や二人の先生に聞いた場合はやはりなかなかマイナス面の答えが出てこないと思います。
- 坂 井 委 員 先ほど家庭学習の時間が改善傾向にあるという話をされていましたが、それは何か家庭学習の時間を増やす工夫をされているのでしょうか。
- 参 事 (学 校) 学校での取り組みとしては、例えば家庭学習用の宿題プリントコーナーを設けていて、子ども達が自分のやりたいものをそこから選んで家庭学習として取り組むことができます。それは小学校でも中学校でも行っています。
- 坂 井 委 員 5ページのグラフですが、これは何か決まった様式があってこういうグラフになっているのですか。このグラフはあまり意味がないように感じますが。
- 副 主 幹 (学 校) 全国の平均正答率との差を折れ線グラフで表したもので、全国をゼロとして美深町がどの位置にいるか経年変化を見るものです。中学校は全国との差があまりなく安定していますが、小学校は変化が激しいので、やはりあまり変化が大きい方が望ましい、という見方をします。
- 坂 井 委 員 最後の資料の現在の中学3年生とその学年が6年生のときを比較した図を見ると、伸びている部分もありますが、例えば国語の話すこと聞くことや算数・数学の同じところが凹んだままというのが分かります。小学校のときにこの学年はこういうところが弱いから、そこをもう少し伸ばすような取り組みをしてもらえればと思います。せつかくこういう対比が学校の方でもできるのであれば、例えば小学校のときこういうところが弱かったから、中学校に入ったらそれを伸ばすような指導をしてほしいというのもあっていいのかと思います。確かに強いところは伸びているのが分かりますが。
- 教 育 長 その時々の子供が面白いと感じる授業、例えばデータの活用は、この学年がもともと小学校から得意としているもので、それがさらに伸びているということは、これが好きな子どもが多いといった状況だと思います。そして先程坂井委員が言った図形とか数と式は、ほぼ変わっていません。やはりそういう特徴があるのだと思います。こう分析した中でそこをどうするか、この学年の子どもたちは好き嫌いがあるので、何とか授業を工夫できないか、授業が楽しければ子ども達も一生懸命取り組むと思います。その辺に結びつく授業研究というのも必要だと思います。それについては、町教研という先生方が集まる場がありますので、そこでそういった話をさせていただければと思います。
- 坂 井 委 員 例えば小学校5、6年の担任の先生と中学1年の担任の先生は、同じ子どもたちを見るので、交流の場をもってこの学年はこういうところが弱いからといった交流はあるのでしょうか。それは小さい町だからできる話だと思います。大きい町ではおそらく難しいかも知れないですが、ひと学年1クラスしかない学校であればできる話だと思います。同じ学年を受け持つ小学校と中学校の先生が垣根を越えて意見交換を増やしていけば良いと思います。こういった小学校のデータが中学校に行き、それをしっかり検討しながら進め

ているのか、十分にデータが活用されているのか、という疑問を感じます。せっかくこういう統計を出しているのだから、そういうところをしっかりとって凹んだところを補うような教育の仕方だとかにもっと活用されればよいと思います。

教 育 次 長 仁宇布小中学校は、数年前からそれぞれ乗り入れをしていますし、もともと小中並置校で職員室も一緒なので、小中の連携はできていると思います。美深小学校と美深中学校は、ここが弱いという情報共有はあるかも知れないですが、そこを改善しましょうというのはおそらくないと思います。

坂 井 委 員 美深町は英語教育を推進していますが、私の個人的な意見を言うと、すべての教科において読解力が大事だと思います。問題を読んでしっかり理解して回答を書けるかどうかです。だから読解力を付ける仕組みを、小学校低学年からでも美深町で強く推し進めましょうとトライするのもいいかと思います。美深町の教育行政で、読解力をどう付けさせるかに特化したものを試みるのも一つの手かと思います。

教 育 次 長 読解力は分析にも書いているように、中学校でリーディングスキルテストをやるので、それと成績がほぼ一致しています。

副 主 幹 (学 校) 小学校での実施を考えたこともあるのですが、なかなか適当なものがなく、それで中学校1年生が対象のリーディングスキルテストを行っています。個人ごとに結果が出て、どれだけ文章を理解しているかが分かります。それと学力が比例している部分があり、読解力が低い子は問題文を途中で読むのを止めてしまっているということがわかります。

坂 井 委 員 小学校の早い段階から読解力を付けさせるという取り組みをしていくのがいいのではないかと思います。

教 育 次 長 中学校1年生でやって、それを中学校の段階で活かす先生、活かさない先生が出てくると思うので、その辺は教育委員会がどう後押しするかですが。幼児センターから始めたとして、その後の幼小中の連携も必要になってくると思います。言うのは簡単ですが、なかなか難しいと思います。取り組む側としては、やらなければならないことがたくさんある中で、そこに連携となるとやはり難しくなると思います。

坂 井 委 員 幼児センターでも、小さい時から遊びの中で読解力を付けさせるような遊びとか。本当に読解力が伸びれば、理解して問題を解くと思います。自分もそうだったと思います。小さいときはそんなに読解力はなかったような気がします。

教 育 次 長 野球をやっている、野球のルールを理解して、早く上手になる子どもと遅い子どもと両方いるので、やはりその差かと思います。どの辺までの読解力が必要かというのは分からないですが、読解力は非常に大事だと思います。すべての教科や、生きて行く上で大事です。

教 育 長 今日いただいたご意見については、毎月開催している校長会・教頭会の次回会議で、今回の学力調査の結果等についての話でしたいと思います。今日の校長会・教頭会では英語の話をしております。

教 育 次 長 学校訪問も11月にありますので、その時に聞いていただければと思います。

清 水 委 員 私たちは小学校、中学校のことだけを議論していますが、私が子育てをしていて思ったのが、高校に行った時に美深の状況があからさまになるということです。美深の子ども達は、幼稚園からずっと同じメンバーできているので、例えばあの子は足の速い子、あの子は勉強ができる子というようにだいたいわかって、それがずっと変化なしで育っていきます。けれど高校に進学した時に、美深のメンバーだけでなく、名寄に行けば、名寄の子もいるし士別やいろいろな所から来ている子どもがいて、その中に美深の子どもが入った時に、美深の状況があからさまになるんです。

大 島 委 員 先生たちは定期的に異動されているので、美深の置かれている学力の水準がどの程度かわかる方は、先生方の中に多いのではないかと思います。そういう経験をもとに、美深の子ども達を指導していけないものなのでしょうか。そのための異動ではないでしょうか。

坂 井 委 員 最近、美深から出て旭川に行った生徒で途中でやめてしまっている子が結構目立つような気がします。私の娘の代も何人かいます。いい学校に行ってもついていけないとか、ついていけないわけでもないけれど人間関係の部分での挫折もあるのでしょうか。以前はあまりそういったことは聞かなかったのですが、最近結構あるようです。

清 水 委 員 やはり小学校、中学校は大事です。
 清 水 委 員 そうですね。基礎ですから。
 清 水 委 員 基礎をちゃんとしないと、基礎の先に進んだ時に苦勞するということだと思います。まず一步目の小学校から先生達にしっかり指導してもらいたいです。

教 育 長 よくわかりました。他にご質問等はございませんか。
 (「なし」の声あり)

教 育 長 報告事項1「令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」は報告済みとさせていただきます。

教 育 長 次に、その他「10月の行事予定について」各担当から説明をお願いします。
 (「10月の行事予定について」別紙により説明)

教 育 長 行事予定の説明が終わりました。10月1日16時45分から新教育委員の齊藤さんの辞令交付式を行ないます。皆様のご出席もお願いします。5日には仁宇布小中学校の文化祭がありますので、安喰委員の出席をよろしく願います。次回の教育委員会会議ですが、10月18日16時からこの場所で予定しております。その後歓送迎会も予定しているということで、皆さんの今のところのご都合はいかがでしょうか。
 (「異議なし」の声あり)

教 育 長 それでは、何かございましたらご連絡いただきたいと思います。10月の行事予定等につきまして、何かございますか。
 (「なし」の声あり)

教 育 長 その他全体をとおして何かございますか。
 (「なし」の声あり)

教 育 長 事務局から何かございますか。
 (「なし」の声あり)

教 育 長 以上で、本日の教育委員会会議に提案いたしました全ての議案審議が終了しました。

◎ 閉 会 (午後5時20分)

教 育 長 以上をもちまして、令和6年第9回教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でございました。

上記会議録について 令和6年 10月 18日確認

北海道中川郡美深町教育委員会教育長 杉 本 力

北海道中川郡美深町教育委員会教育長職務代理者 安 喰 俊 博